

次期京都市基本計画検討資料

政策分野 <スポーツ>

1 序

- 1-1 京都市基本構想における関連記述 1P
- 1-2 現行京都市基本計画に掲げた政策 2P
- 1-3 これまでの主な取組 3P

2 次期京都市基本計画策定に向けた論点 7P

- 2-1 論点1 現状と課題 8P
- 2-2 論点2 政策の基本方向 10P
- 2-3 論点3 市民と行政の役割分担と共汗 17P
- 2-4 論点4 10年後に目指すべき姿 19P

3 参考資料

3-1 現状分析関連データ 23P

- ・客観データ
- ・市民の声
- ・関係団体意見等
- ・各区基本計画策定に当たって現時点で出された課題

3-2 主な分野別計画の概要 36P

3-3 融合委員会ワークショップ結果 37P





1 序

1-1 京都市基本構想における関連記述

～ひとりひとりが支え、支えられるまち～

そのようなまちは、だれもが心身ともに健やかにくらせるまちでもある。そこでは、ひとびとが健康に生活できるような環境が整えられ、スポーツやレクリエーション活動のための機会や施設にも恵まれている。（略）

わたしたち京都市民は、このように、ひとりひとりが支え、支えられるまちをつくっていく。そして京都を、ひとびとが自分の老後や後続世代の生活に不安を抱くことなく、安らいだ気持ちでくらせるまちにする。



1-2 現行京都市基本計画に掲げた政策

スポーツ ～心身ともに健やかにくらす～

生涯を通して、だれでも、いつでも、どこでもスポーツに親しむことができる豊かなくらしの実現に向け、市民やスポーツ振興団体等との連携の下、スポーツに親しむ機会と場の提供に努める。



1-3 これまでの主な取組

① ハードウェア（物的条件（施設、設備等））の整備

| するスポーツ | 観るスポーツ | 支えるスポーツ |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 地域体育館，伏見桃山城運動公園など，新たなスポーツ施設の整備 | <ul style="list-style-type: none">・ 西京極総合運動公園などの競技施設において，プロスポーツ等の観戦環境の整備 | <ul style="list-style-type: none">・ 新規整備施設を中心に施設のバリアフリー化・ 西京極総合運動公園などの競技施設の管理運営に指定管理者制度を導入 |

平成20年竣工

右京地域体育館



平成19年4月開園

伏見桃山城運動公園





② ソフトウェア（非物的条件(情報システム, スポーツ大会等)）の整備

| するスポーツ | 観るスポーツ | 支えるスポーツ |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校体育, 生涯スポーツ, 競技スポーツ, 障害者スポーツ, 高齢者スポーツの各種大会の実施・誘致 ・ 京都市・市町村共同公共施設案内予約システムの充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校駅伝・女子駅伝をはじめとするアマチュアトップレベルの競技大会 ・ 地域密着型プロスポーツの振興 | <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ表彰制度の実施 ・ 各種大会への市民ボランティア募集の取組 ・ 京都市体育振興会連合会組織, 京都市体育指導委員制度 |

京都市・市町村共同公共施設案内予約システム



平成元年度から毎年開催

市民スポーツフェスティバル





③ ヒューマンウェア（人に関する条件（リーダー，ボランティア等））の整備

| するスポーツ | 観るスポーツ | 支えるスポーツ |
|-------------------------|-------------------|---|
| ・ 地域・学校・大学・職域等でのアスリート育成 | ・ 市内企業によるプロスポーツ支援 | ・ 体育振興会や体育指導委員などの活躍 ・ 京都シティハーフマラソンや，大文字駅伝，車椅子駅伝などでの市民ボランティアの活躍 |



◆京都未来まちづくりプランに掲載の関連事業

- ・ 京都歩こう会（仮称）
- ・ サッカースタジアムの整備の検討
- ・ 中学校等のグラウンドへの照明設備設置
- ・ 水垂埋立処分地跡地への運動公園の整備



2 次期京都市基本計画策定に向けた論点

論点1 現状と課題

- ◇ 活かすべきチャンス（追い風）は？放置できない問題（向かい風）は？
- ◇ 活用できる資源（強み）は？克服すべきこと（課題）は？

論点2 政策の基本方向

- ◇ 今後10年間の基本的考え、価値観は？

論点3 市民と行政の役割分担と共汗

- ◇ 政策の推進に当たって市民や行政が行うべきことは？

論点4 10年後に目指すべき姿

- ◇ 10年後のあるべき姿やそれが達成された状況を図る指標・目標値は？



2-1

論点1 現状と課題

- ◇ 活かすべきチャンス（追い風）は？放置できない問題（向かい風）は？
- ◇ 活用できる資源（強み）は？克服すべきこと（課題）は？



<現状分析>

| 外部環境分析（施策を推進するうえで、追い風又は向かい風となる変化や社会的な状況） | |
|--|---|
| 追い風 | 向かい風 |
| <p>○指定管理者制度の導入により、施設の効率的な運営と、利用者のニーズに応じたサービス向上など、柔軟な施設運営が可能になった<23P></p> <p>○西京極総合運動公園等で、市民がトップレベルのスポーツに間近にふれる機会が増えてきている<24P></p> | <p>○所管施設や設備の老朽化が進行しており、市民に満足していただける施設の供用や事業の展開が困難になる可能性がある<25P></p> <p>○厳しい財政状況のもとでは、任意行政であるスポーツ施策に対する予算確保はより困難となっている<13P,14P></p> |
| 京都の現況分析（他都市等と比較して、京都の現況が優位又は劣位である事項） | |
| 京都の強み | 京都が解決・克服すべき課題 |
| <p>○全国に類のない市民スポーツ団体として組織される体育振興会は、地域における市民スポーツの普及・振興の大きな原動力となっている<26P></p> <p>○ネーミングライツの導入をはじめとした市内企業による支援<27P></p> <p>○新しい気風を受け入れやすい土壌をスポーツ振興にも活かすことができる<28P></p> | <p>○多様化する利用者のニーズに応じた施設の提供が更に必要<29P></p> <p>○財政状況が厳しい上、内陸都市ということもあり、活動用地の新たな確保が困難<30P></p> <p>○市内に府設置施設が少なく、市の負担が大きい<31P></p> <p>○世代交代に伴い、支えるスポーツの担い手である体育振興会、体育指導委員、体育協会の新たなかつ安定的な人材確保や育成支援が必要<32P></p> |



2-2

論点2 政策の基本方向

- ◇ 今後10年間の基本的考え，価値観は？



<現在の方向性>

- だれもが、いつでも、どこでも、いろんなかたちでスポーツに親しめる環境を、みんなで支えあう「スポーツごころ」を結ぶまちづくり
(新世紀「スポーツごころ」推進プラン)

<政策を進めるうえでの悩み>

- **施設の改修・改善については、総合庁舎への合築整備や民間施設の再整備等を進めてきたが、一層の工夫と財源確保が必要<13P,14P>**
- **世代交代に伴い、支えるスポーツの担い手である体育振興会、体育指導委員、体育協会の新たなかつ安定的な人材確保や育成支援が必要 <15,16P>**



<関連データ>

➤ 市内のスポーツ施設の改修等には多額の経費を要している。

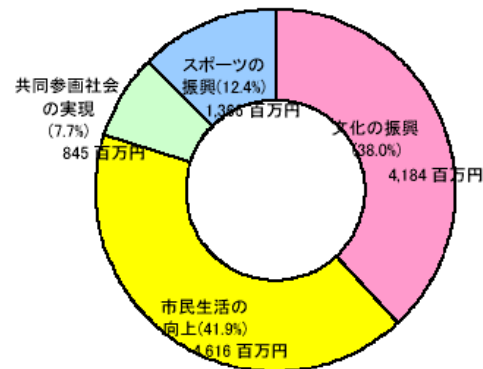
直近の施設改修経費（小修繕除く）

| | | |
|------|------------------------|---|
| 18年度 | 39,468千円 | |
| | 西京極陸上競技場兼球技場照明照度改善 | |
| | 西京極補助競技場3種公認更新検定に向けた改修 | 等 |
| 19年度 | 72,732千円 | |
| | 吉祥院公園グラウンド防球ネット整備 | |
| | 西院公園テニスコート12面分の人工芝張替え | |
| | 西京極補助競技場スタンド屋根設置 | 等 |
| 20年度 | 102,865千円 | |
| | 下鳥羽公園外周フェンス改修 | |
| | 京都アクアリーナ競泳用タッチ板修繕 | |
| | 横大路体育館バスケットゴール修繕 | |
| | 京都市体育館熱源発生装置改修 | 等 |



<関連データ>

- 文化市民局の予算は平成20年度比で1.1%減
- スポーツの振興については，文化市民局予算の約12%



(単位：百万円)

| | 21年度 | 20年度 | 対前年度比較 | |
|-----------|---------|---------|--------|--------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 京都市一般会計予算 | 693,993 | 689,555 | 4,438 | 0.6% |
| 文化市民局予算 | 11,011 | 11,130 | △119 | △1.1% |
| 文化の振興 | 4,184 | 3,681 | 503 | 13.7% |
| 市民生活の向上 | 4,616 | 5,266 | △650 | △12.3% |
| 共同参画社会の実現 | 845 | 839 | 6 | 0.7% |
| スポーツの振興 | 1,366 | 1,344 | 22 | 1.6% |

※ 京都市交響楽団の運営の移管に伴い、「文化の振興」から人件費相当額を支出することとなったため、予算が増加

※ 左京区総合庁舎整備のための用地買戻しが完了したことから、「市民生活の向上」の予算が減少



<関連データ>

- 体育振興会は、市内の221の元学区ごとに組織

体育振興会概要

約半世紀以上の歴史を有する全国に類のない市民スポーツ団体。スポーツの振興を通じて、地域コミュニティの活性化に大きく貢献している。市内221の元学区ごとに全学区民を会員として組織され、地元の学校施設などを主な活動拠点として、学区民体育祭など地域に密着したスポーツ事業を展開している。



<関連データ>

- 体育協会職員数 90人（平成20年度）
- 体育協会ホームページアクセス件数（1日当たり）4,810件（平成20年度）

体育協会概要

目的 多様化した市民のスポーツ活動に対する欲求にこたえ、市民スポーツの普及・振興に関する事業を積極的に推進し、もって市民の健全な心身の発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とする。

事業内容

- (1) 京都市内における競技力向上のための方針の審議及び確立
- (2) 加盟団体の強化及び発展並びにこれら団体間の連絡及び融和
- (3) スポーツ指導員の育成及び市民に対するスポーツの指導
- (4) 各種スポーツ事業の実施
- (5) 京都市等の公共的団体から指定及び委託を受けた体育施設の管理運営
- (6) 京都市等の公共的団体の委託を受けてのスポーツ事業の実施
- (7) 京都市をはじめとする市内の公共的団体の諮問に対する審議及びその施策への協力
- (8) 京都市スポーツ少年団の育成
- (9) 前各号にあげるもののほかこの法人の目的を達成するための事業



2-3

論点3 市民と行政の役割分担と共汗

- ◇ 政策の推進に当たって市民や行政が行うべきことは？



<市民と行政の役割分担と共汗事例>

<本市の事例>

• 市民スポーツフェスティバル

京都市体育振興会連合会とともに昭和28年からリレーカーニバル、昭和29年からソフトボール大会、昭和40年から市民ルールによるバレーボール祭を開催している。平成元年からは上記3大会にニュースポーツや、ジョギング大会などを加えた総合的な市民スポーツの祭典として、「市民スポーツフェスティバル」を開催している。

• トップアスリートと市民との交流

平成21年度はプロサッカーチーム京都サンガF.C.に加え、bjリーグ（日本プロバスケットボールリーグ）京都ハンナリーズの誕生により、プロスポーツ選手との交流の機会が増している。また、女子プロ野球リーグ創設に伴う「京都球団」の設置を支援。この他にも、ドリーム・ベースボール時に「少年少女ふれあい野球教室」（21年9月）等を実施。



2-4

論点4 10年後に目指すべき姿

◇ 10年後のあるべき姿やそれが達成された状態を測る指標・目標値は？

指標とは・・・

- 10年後の京都の姿を市民と行政が共有するための目じるし
- 市民と行政が共に目指す京都の姿を，言葉や数値で表すもの
- 目標値は，数値で表した指標の10年後に目指すべき水準



◆政策評価で用いている指標

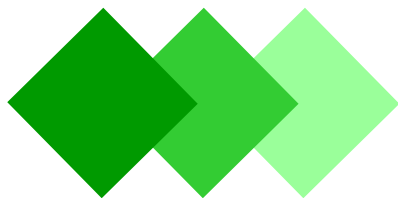
| 指標 | 現況値(20年度) |
|-----------------------|-----------|
| スポーツ施設の利用件数 | 12,091件 |
| 市民スポーツ振興室ホームページアクセス件数 | 258,991件 |
| 市民スポーツフェスティバル参加者数 | 5,888人 |



◆1万2千人市民アンケート(※)で提案のあった指標

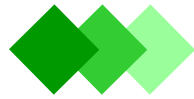
| 指標 |
|-----------------|
| スポーツ施設の普及率, 活用度 |
| スポーツ施設数 |
| スポーツ施設利用率 |
| プロスポーツチーム数 |
| 球技専用スポーツ施設数 |
| 市民プール数 |
| 団体の総合順位 |
| 肥満率 |

※1万2千人市民アンケート...次期京都市基本計画の策定に当たって実施したアンケート調査(20年度)



3 参考資料

| | | |
|-----|----------------|-----|
| 3-1 | 現状分析関連データ | 23P |
| 3-2 | 主な分野別計画の概要 | 36P |
| 3-3 | 融合委員会ワークショップ結果 | 37P |



3-1 現状分析関連データ

◆客観データ

追い風

- 指定管理者制度の導入により，施設の効率的な運営と，利用者のニーズに応じたサービス向上など，柔軟な運営が可能になった

利用料金の変更や自主事業の展開等を行った

指定管理者制度導入後の取組

- ・ 利用料金の新設・変更等
- ・ 西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場に個人利用料金を設定
- ・ 西京極総合運動公園プール施設にプール・フィットネスの併用料金を設定
- ・ 西京極総合運動公園野球場に時間利用料金を設定
- ・ 宝が池公園球技場に時間利用料金を設定
- ・ 西京極総合運動公園補助競技場個人利用料金を減額（300円→200円）
- ・ テニスコート供用時間を延長
- ・ 西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場・補助競技場，宝が池公園球技場のお正月無料開放を実施
- ・ 西京極総合運動公園プール施設・各地域体育館で子ども向けのスポーツ教室を実施
- ・ 京都市体育館で空きスペースを活用した多目的スタジオを開設



◆客観データ

追い風

- 西京極総合運動公園等で、市民がトップレベルのスポーツに間近にふれる機会が増えてきている。

本市所管施設における主なトップレベルのスポーツイベント

| | |
|------------|---|
| 平成19年度 | Jリーグ公式戦, ジーエスユアサオープン(テニス), 島津全日本室内テニス選手権, 日本女子ソフトボールリーグ, 全国高校駅伝, 全国都道府県対抗女子駅伝 |
| 平成20年度 | Jリーグ公式戦, ジーエスユアサオープン, 島津全日本室内テニス選手権, チャリティー大相撲京都場所, 日本女子ソフトボールリーグ, 全国高校駅伝, 全国都道府県対抗女子駅伝 |
| 平成21年度 | Jリーグ公式戦, bjリーグ公式戦, プロ野球名球会 ドリーム・ベースボール, ジーエスユアサオープン, 日本女子ソフトボールリーグ, 国際ゴールドマスターズ(世界初の陸上・水泳同時開催), 島津全日本室内テニス選手権(予定), 全国高校駅伝(予定), 全国都道府県対抗女子駅伝(予定) |
| 平成22年度(予定) | Jリーグ公式戦, bjリーグ公式戦, プロ野球公式戦(巨人ー横浜), 女子プロ野球リーグ, 日本女子ソフトボールリーグ, 全国高校駅伝, 全国都道府県対抗女子駅伝 |



西京極総合運動公園わかさスタジアム京都(野球場)で平成21年9月に開催されたプロ野球名球会 ドリーム・ベースボールの様子



◆客観データ

向かい風

- 所管施設や設備の老朽化が進行しており、市民に満足していただける施設の供用や事業の展開が困難になる可能性がある

【施設老朽化の事例】

| 施設名 | 箇所 | 概要 |
|----------------------------------|-----------------|--|
| わかさスタジアム京都 | グラウンド 及びスタンド | 利用頻度が高いグラウンドは、芝の痛みが激しいとともに、水はけが悪く、レベルの高い競技が行われる当球場にふさわしくない状態になっている。 スタンドは、ビッグゲームを誘致できるための観戦環境を整え、一部を個室化する必要がある。 |
| 京都市体育館 | 建物全般 | 昭和38年に設置された建物で、壁面や床面等で磨耗・老朽化が目立つ。今年からは、バスケットボールbjリーグ 京都ハンナリーズのメインアリーナとして使用されているため、プロスポーツの試合が行われるのにふさわしい体育館に改修する必要がある。 |
| 西京極総合運動公園 陸上競技場兼球技場 | 電光掲示板 | サッカーJリーグ 京都サンガF.C.のメインスタジアムまた、全国高校駅伝や都道府県対抗女子駅伝の発着地点にふさわしい競技場にするために、老朽化が著しい電光掲示板からリアルタイムの映像やゴールシーンが再現されるようなオーロラビジョンに整備する必要がある。 |
| 西京極総合運動公園 プール施設 (京都アクアリーナ) | 設備全般 | 国際規模の競技大会が開催される施設であるため、大規模かつデリケートな機械、電気及び衛生設備を備えており、入退場管理システム、電光掲示板システム等の改修が必要である。 |
| 宝が池公園球技場 | スコアボード | ハイレベルなラグビー、サッカー、アメリカンフットボールが行われる球技場。スコアボードは、設置後20年以上が経過し、老朽化が著しく、根本的な改修をする必要がある。 |

これらのほか、各運動公園のフェンスや各地域体育館の機械設備・電気設備等も老朽化が進んでおり、限られた予算の中で順次対応する必要に迫られている。



◆客観データ

京都の強み

- 全国に類のない市民スポーツ団体として組織される体育振興会は、地域における市民スポーツの普及・振興の大きな原動力となっている

年間延べ180万人の市民が参加 体育振興会概要

約半世紀以上の歴史を有する全国に類のない市民スポーツ団体。スポーツの振興を通じて、地域コミュニティの活性化に大きく貢献している。市内221の元学区ごとに全学区民を会員として組織され、地元の学校施設などを主な活動拠点として、学区民体育祭など地域に密着したスポーツ事業を展開している。

また、各行政区ごとにその連合組織である各行政区体育振興会連合会、市全体では京都市体育振興会連合会が組織されており、それぞれ区レベル、全市レベルでスポーツ大会を開催し、すべての体振事業に年間延べ180万人もの多数の市民が参加している。



◆客観データ

京都の強み

- ネーミングライツの導入をはじめとした市内企業による支援。

西京極野球場のネーミングライツ事業

趣旨・目的

京都市と株式会社わかさ生活が互いに協力し、市民のための野球場を安定して運営しながら、市民が使いやすく、市民の集いやすい、市民に親しまれる施設とすることにより、スポーツの振興と発展並びに地域貢献と青少年の健全育成に資することを目的とする。

ネーミングライツによる施設通称

日本語標記「わかさスタジアム京都」

英語標記「WAKASA Studium Kyoto」

契約期間・契約金額

5年間・年額2,500万円（総額1億2,500万円）

※西京極野球場の諸施設の充実等に充てる



◆客観データ

京都の強み

- 新しい気風を受け入れやすい土壌をスポーツ振興にも活かすことができる

「新しい気風」

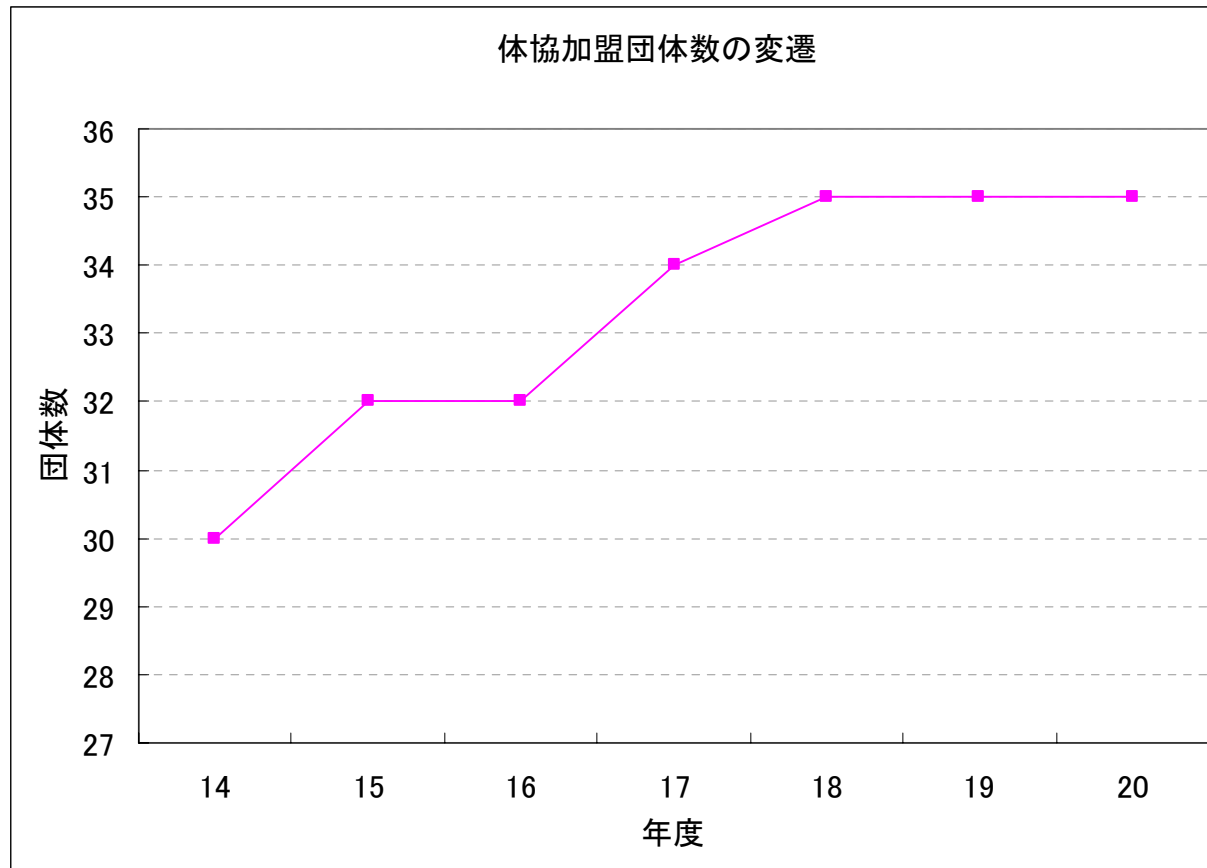
- ・ 京都は駅伝発祥の地
- ・ 京都は軟式野球発祥の地
- ・ 女子プロ野球リーグの発足（平成22年）



◆客観データ

➤ 多様化する利用者のニーズに応じた施設の提供が更に必要

京都市体育協会加盟団体数が増加





◆客観データ

- 財政状況が厳しい上、内陸都市ということもあり、活動用地の新たな確保が難しい

山に囲まれた特有の地形を有する京都では、運動施設に相応しい規模の敷地を確保することが困難



◆客観データ

➤ 市内に府設置施設が少なく，市の負担が大きい

○京都市内の京都府設置 有料スポーツ施設

- ・伏見港公園
- ・府立体育館
- ・京都テルサ（スポーツホール，フィットネスクラブ，京都府スポーツセンター）

○京都市内の京都市設置 有料スポーツ施設(スポーツ企画課所管施設)

京都市体育館，西京極総合運動公園北側区域（陸上競技場兼球技場，補助競技場，わかさスタジアム京都（野球場）），京都アクアリーナ，横大路運動公園，宝が池公園運動施設，武道センター，岡崎公園，一乗寺公園，岩倉東公園，朱雀公園，東野公園，勧修寺公園，殿田公園，吉祥院公園，上鳥羽公園，桂川緑地久我橋東詰公園，西院公園，牛ヶ瀬公園，小畑川中央公園，三栖公園，下鳥羽公園，伏見公園，伏見桃山城運動公園，京北運動公園，京北パラグライダー施設，市民スポーツ会館，左京地域体育館，中京地域体育館，東山地域体育館，山科地域体育館，下京地域体育館，吉祥院地域体育館，久世地域体育館，右京地域体育館，桂川地域体育館，伏見北堀公園地域体育館，伏見東部地域体育館，醍醐地域体育館，伏見北部地域体育館，黒田トレーニングホール（計40施設）



◆客観データ

- 世代交代に伴い，支えるスポーツの担い手である体育振興会，体育指導委員，体育協会の新たなかつ安定的な人材確保や育成支援が必要

○体育指導委員数の推移

| | 16.4.1 | 18.4.1 | 20.4.1 |
|------|--------|--------|--------|
| 委員数 | 600 | 610 | 603 |
| 平均年齢 | 50.4 | 51.9 | 52.1 |
| 定数 | 673 | 673 | 662 |

京都市体育指導委員規則による定数 700名以内
委員の任期 2年



◆市民の声

◇西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場は、他都市の施設に比べ、施設内容が貧弱である。改修を行うべきだ。

(「京都いつでもコール」に寄せられた意見から)

◇サッカー・球技専用のスタジアムを整備してほしい。

(「京都いつでもコール」に寄せられた意見から)

◇インラインホッケーができる施設を整備してほしい。

(「京都いつでもコール」に寄せられた意見から)



◆関係団体意見等

(京都府スケート連盟)
◇通年でアイススケートができる施設がほしい。

(京都市ソフトボール協会)
◇ソフトボール専用球場がほしい。

(株式会社京都パープルサンガ)
◇サッカー専用スタジアムがほしい。



◆各区基本計画策定に当たって現時点で出された課題

| | |
|-----|---|
| 北区 | <ul style="list-style-type: none">・スポーツ活動について，高齢者の増加を踏まえ，高齢者も気軽に参加できる内容にしていく必要がある |
| 南区 | <ul style="list-style-type: none">・スポーツ系のサークルの情報を把握して発信・ヘルスピアだけでは遠い人も多く，他に拠点が必要。新たなスポーツ活動の拠点整備 |
| 西京区 | <ul style="list-style-type: none">・区民の健康増進にもつなげるスポーツ活動の振興を図ることが必要 |
| 伏見区 | <ul style="list-style-type: none">・より気軽に参加でき，利用者のニーズにも合致した生涯スポーツの機会の提供や場づくりへの支援 |



3-2 主な分野別計画の概要

| | |
|------------|--|
| 名称 | 新世紀「スポーツごころ」推進プラン（京都市市民スポーツ振興計画） |
| 策定年月 | 2001（平成13）年度 |
| 計画期間・目標年次 | 2001（平成13）年度～2010（平成22）年度 |
| 趣旨 | 前計画の施策の達成状況などを点検し、余暇時間の増大や長寿社会の進展などの社会情勢の変化を踏まえ、市民の主体的なスポーツ活動の現状やニーズに的確に対応させ、平成22年度を目標年度として新たに策定したスポーツ振興計画 |
| 主要施策と実施状況等 | <p>主要施策</p> <ul style="list-style-type: none">・地域体育館の現行配置計画の早期完了と新たな配置計画の策定・新たなスポーツ拠点施設の整備・公共施設の活用 <p>実施状況等</p> <ul style="list-style-type: none">・右京地域体育館の整備・西京極総合運動公園プール施設「京都アクアリーナ」オープン・岩倉東公園を開設・伏見桃山城運動公園を開設・水垂埋立処分地跡地への運動公園の整備事業に着手・小学校校庭（203校）への夜間照明設備の設置完了・平成18年度から順次各区1校の中学校に夜間照明設備を設置・コミュニティセンター屋内体育施設からの転用により、左京地域体育館、中京地域体育館、下京地域体育館、吉祥院地域体育館、久世地域体育館、伏見東部地域体育館、伏見北部地域体育館として供用開始 |
| ホームページ | http://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/soshiki/6-5-0-0-0_8.html |



3-3 融合委員会ワークショップ結果

| 未来像 | 重点戦略 | 補足 |
|------------------------|------------|----|
| 多子健康長寿都市「京都」 の具体的実現 | 生活習慣病対策の充実 | |